

令和7年国立市議会第3回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第3回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

それでは、6月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

平和施策についてですが、6月21日に「くにたち平和の日」イベントをFSXホールにて開催いたしました。当日はアンネフランクをテーマとした映画上映会を開催し、約100名の方にご参加いただきました。

また、8月8日から9日に長崎市で開催された「第11回平和首長会議総会」に出席いたしました。総会においては国立市の取組を報告する機会をいただき、伝承者事業と多摩地域平和ネットワークの取組を報告させていただきました。

さらに、「多摩地域平和ユース広島研修」を8月20日から22日に実施いたしました。多摩地域から26名の高校生、大学生を広島市に派遣し、被爆者からの講話をいただくとともに、

広島市長への面会や広島の同世代の若者との交流などを行いました。

次に、デジタル地域通貨「くにPay」についてですが、9月2日をもって、くにPay本格導入から1周年となることを記念したキャンペーンの第1弾として、チャージ額に対して10%のポイントを付与する、プレミアムチャージキャンペーンを8月13日から27日にかけて実施いたしました。

期間中累計で1,696件43,228,000円分がチャージされ、4,322,800ポイントの付与を行いました。引き続き、くにPayの利用拡大に努めてまいります。

次に、行政管理部関係です。

国立市特別職職員報酬等審議会についてですが、7月30日に、まちづくり政策監の給料額等の設定について諮問し、2回の審議を経て、8月20日に答申をいただきました。

この答申を踏まえ、本定例会に関連する条例案及び補正予算案を提出しておりますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、軽装勤務の通年化についてですが、職員の働きやす

さを改善することで市民サービスの向上につなげるため、8月12日より、ナチュラルビズの試行実施を開始いたしました。節度をもった服装を念頭におきつつ、より働きやすい職場環境の整備に努めてまいります。

次に、第11回国立市消防団消防操法審査会についてですが、6月15日に北多摩二号水再生センターにおいて開催し、これまでの訓練の成果が十分発揮された審査会となりました。当日は市議会議員をはじめ、多くの来賓の方々のご出席に対し、深く感謝申し上げます。

次に、健康福祉部関係です。

熱中症予防についてですが、熱中症対策庁内連携会議の議論を踏まえ、公共施設のうち14箇所を、気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設、いわゆるクーリングシェルターとして指定いたしました。

また、7月から市民の皆様が外出先で熱中症から身を守っていただけるように、多くの事業者にご協力いただき、公共施設で19箇所、民間施設では172箇所の合計191箇所に、暑さをしのげる熱中症予防一時避難所を設置いたしました。

さらに、市の職員やくにたち福祉サポーター、認知症伴奏

者等が訪問し、水分補給やエアコンの適切使用の呼びかける見守り活動を行いました。まだ暑い時期が続きますので、引き続き、熱中症予防に取り組んでまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

国立駅南口子育ち・子育て応援テラスについてですが、7月1日に開館記念式典を、施設の指定管理者であるくにたち子どもの夢・未来事業団とともに執り行いました。

また、7月2日からは、子育てひろばや一時預かり、共有スペースである情報ストリート、交流学習スペースがオープンし、中心となる子育てひろばは、7月の1か月間で延べ2,510人のお子さんにご利用いただきました。市では初めてとなる短時間の一時預かり事業は、リフレッシュ目的で利用される世帯が多く、定員がいっぱいになる日も見られています。矢川プラスと国立駅南口子育ち・子育て応援テラスの二つの施設を両輪として、今後も一層、子育て環境の充実に取り組んでまいります。

次に、青少年国内交流事業及び北九州派遣事業についてですが、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを学ぶことを目的に、8月7日から9日にかけて小学校6年生15名を

長崎に派遣するとともに、戦後80周年事業として、8月17日に北九州市で開催された平和に関するシンポジウムに、過去に国立市青少年国内交流事業に参加した高校1年生2名を派遣いたしました。また、8月24日には、両派遣生による報告会を開催し、多数の保護者、市民、議員の方々にご参加いただきました。

次に、幼稚園フェアの開催についてですが、未就学児童保護者に対して、各園の教育方針や取組の紹介を行い、入園に関する情報などを事前に提供することにより、保護者の幼児教育への理解と入園希望者の拡大を目的として、市内私立幼稚園、認定こども園が一堂に会して、6月21日に矢川プラスにおいて実施しました。

フェア当日は、保護者や子どもを合わせて114名の参加があり、各施設でパネルや端末を使った写真展示、パンフレットなどを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答えいただきました。

次に、幼保小連携推進研修成果発表会の開催についてですが、これまで、子ども家庭部、教育委員会、くにたち子どもの夢・未来事業団で連携して取り組んできた内容を継続・発

展させるため、幼保小連携研究の第一人者である、玉川大学教育学部^{おおまめうだひろとも}大豆生田啓友教授と東海大学児童教育学部^{ほうらい}寶來生志子^{きしこ}准教授にお越しいただき、市内公立小学校、保育園、幼稚園、認定こども園の教職員が集う研修を実施いたしました。全3回に渡り研修会を実施し、最終回の8月1日には、各自が第1回の研修会で設定した幼保小の架け橋期の子ども達の学びと育ちをつなぐためのチャレンジテーマに対する成果発表を行いました。

当日は、国立市内の関係者のみならず、市外からもメディア関係や行政関係、小学校、保育園などの参加があり、合計で81名が参加しました。成果発表会を通じて、各施設での取組を市内関係者で共有することで、学校教育、保育・幼児教育のレベルアップにつなげるとともに、市外に対しても、国立市の先進的な取組を発信することができました。

次に、生活環境部関係です。

国立駅開業100周年イベントについてですが、8月2日から7日にかけて、旧国立駅舎で、思い出写真展やジオラマ鉄道展、トークショーやこども駅員体験を実施するとともに、国立駅開業100周年を盛り上げるために、実行委員会が作成した記念ロゴのお披露目を行いました。

次に、第37回くにたち朝顔市についてですが、大学通り緑地帯において、7月5日、6日の2日間で開催されました。

今回は天候にも恵まれて、販売数は先行販売を合わせ1,297鉢となりました。また、市内事業者等の模擬店出店があったほか、子ども向けの企画もあり、市民の方はもとより、市外からも多くの来場者がありにぎわいました。

次に、自治会連絡会についてですが、7月11日、14日、16日の3回に分けて開催いたしました。当日は自治会同士の情報交換及び市と自治会間での意見交換を行い、合計で36自治会の参加がありました。また、自治会加入促進に向け、市報7月5日号の1面から3面には、4つの自治会のインタビュー記事や、自治会主催の夏のイベントを紹介する記事を掲載いたしました。

次に、第11回国立まと火についてですが、7月20日に多摩川河川敷公園において開催されました。

国立まと火は、友好交流都市の北秋田市の旧合川町で継承されております、先祖を敬う伝統行事の「まと火」を国立の地で再現するものですが、ダンポと呼ばれる約500個の球状

の木綿に火が灯る幻想的な光景を会場にお越しの沢山の方々が鑑賞しておられました。

また、北秋田市の特産品の販売なども行い、盛況の中無事に終了することができました。

開催にあたり、天候状況などを見極めながら、必要な対策を講じつつ、ご尽力いただきました実行委員会及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

次に、都市整備部関係です。

富士見台地域まちづくりについてですが、団地居住者が自由に意見交換する場を継続する形で、7月29日、8月6日に「団地の再生（建替え）を考える座談会」を開催し、2日間で延べ約30名の参加がありました。暮らしの質を向上させるため、市役所本庁舎周辺の重点エリアの団地再生と公共施設再編を連携したまちづくりの検討をしていくことを説明し、URが考える具体的な将来イメージ案について多くの意見を聞くことができました。

次に、教育委員会関係です。

教育大綱改訂に向けた意見交換会の開催についてですが、市民向けの会を7月5日に、児童・生徒向けの会を7月16日に

開催いたしました。これからの国立市の教育について、参加者と直接意見交換行うことを通して、参加者の様々な思いや願いを受け止める機会となりました。

次に、北秋田市との交流事業である「マタギの^{ちえ}地恵体験学習会」についてですが、7月25日から27日にかけて、国立市の小学4年生から6年生の児童15名が、北秋田市で開催された体験学習会に参加し、北秋田市の児童12名と共にマタギ文化の学習や体験、また植林活動などを行いました。

次に、食育イベントについてですが、給食の作り手を知り、給食を身近に感じていただくため、7月30日に市内在住の小中学生とその保護者を対象にカムカムキッチン探検ツアーを開催いたしました。

参加者は普段は入ることができない調理場に入り、エアシャワー体験や、5,000人分をつくる調理機器を間近で見ただくとともに、調理員が器具や設備の細かい説明を行いました。

当日は、午前の部では51名、午後の部では45名の方に参加いただき、参加者アンケートでは多くの方からご好評の声をいただきました。

終わりに、本定例会には、令和7年度国立市一般会計補正予算案等12議案を提出させていただいておりますが、「職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案」等の2議案、報告事項2件、令和6年度国立市一般会計、各特別会計及び公営企業会計の決算認定等6件については、準備が整い次第追加提出させていただきます。

また、「まちづくり政策監任命の同意について」の人事案件につきましては、最終本会議にて「国立市特別職の指定等に関する条例案」が可決され、公布いたしましたら追加議案として提出させていただく予定となりますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和7年（2025年）8月29日

国立市長 濱崎 真也